

グローバルデザイン提案書：花巻市

中川 淳司*

【概要】

花巻市は岩手県の中西部に位置する。面積は908.39km²、2024年8月末現在の人口は90,132人である。花巻市の産業の柱は、生産額135億円の農業、生産額2600億円を超える製造業、生産額3277億円に達する第3次産業である。本提案書では、農業と観光業に焦点を当てて花巻市のプロファイリングを行った。花巻市の農業を一口で言えば、県内屈指の米どころであり、稲作に園芸と畜産を組み合わせた複合経営が特徴である。観光地としての花巻市の強みとして

は、まず花巻温泉郷の温泉地としての魅力が挙げられる。加えて、宮沢賢治の故郷としての歴史・文化的な知名度の高さが挙げられる。いわて花巻空港、東北新幹線新花巻駅や高速道路インターチェンジなど、交通の利便性が高いことも花巻市の強みである。以上を踏まえて、本提案書は、①インバウンド観光の増加、②農産物輸出の振興、③外国人住民の共生に向けた働きかけに焦点を当てて、花巻市のグローバルデザインを提案した。

* 中央学院大学現代教養学部教授・社会システム研究所長。

1. 花巻市のグローバル・プロファイリング

a. 基本情報

花巻市は岩手県の中西部、西に奥羽山脈（駒頭山940m）、東に北上山地（日本百名山¹⁾に挙げられた早池峰山1,917m）の山並みが連な

る肥沃な北上平野に位置し、市の中央を南北に北上川が流れる。面積は908,39km²。早池峰山一帯は早池峰国定公園に指定され、²⁾ 高山植物の宝庫として知られている。

図1 花巻市の位置



出典：Map-It「花巻市の地図」<https://map-it.azurewebsites.net/Map/%E5%B2%A9%E6%89%8B%E7%9C%8C___%E8%8A%B1%E5%B7%BB%E5%B8%82/highlight>

気候は、北上川を挟んだ平野部の東部は内陸型盆地気候であり、特に夏場の昼夜の温度差が大きく、冬は比較的温暖で積雪量は少ない。西部の奥羽山麓は寒冷多雪であるが、奥羽山脈にさえぎられるため、日本海側よりは積雪は少ない。³⁾

市の西部には、奥羽山脈の渓谷沿いに花巻温泉郷がある。周辺は県立自然公園に指定されて

いる。

1889年の町村制施行、1954年前後の町村合併などを経て、旧花巻市、旧大迫町、旧石鳥谷町、旧東和町が成立した。これら1市3町が2006年に合併し、現在の花巻市となった。人口は2000年の107,175人をピークに減少に転じ、2024年8月末現在は90,182人となっている。⁴⁾

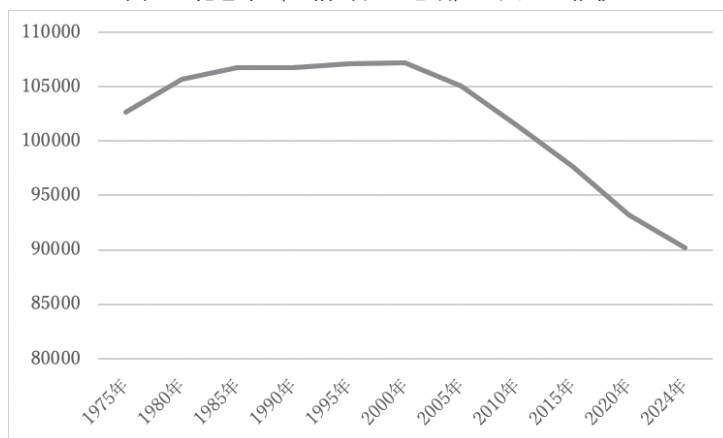
1) 深田久弥『日本百名山』新潮社、1964年。

2) 1982年6月10日指定。

3) まきまき花巻「花巻ってどんなところ?」.<<https://makimaki-hanamaki.com/hanamaki>>

4) 花巻市「統計情報 花巻市のデータ 人口・世帯数（令和6年8月末現在）」.<<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/toukei/1003857.html>>

図2 花巻市（に相当する地域）の人口の推移



出典：花巻市『花巻市統計書 令和5年版』3頁及び花巻市「統計情報 花巻市のデータ 人口・世帯数(令和6年8月末現在)」により作成。

b. 経済・ビジネス

(1) 地域経済の概況

RESAS生産分析によれば、花巻市の2018年の生産額（総額）は6,004億円、その内訳は、第1次産業（農林水産業）176億円（2.9%）、第2次産業2,311億円（38.5%）、第3次産業3,517億円（58.6%）である。第1次産業では

農業（135億円）、第2次産業でははん用・生産用・業務用機械（827億円）、食料品（703億円）、建設業（432億円）、第3次産業では住宅賃貸業（508億円）、保健衛生・社会事業（381億円）、運輸・郵便業（354億円）、小売業（313億円）、宿泊・飲食サービス業（296億円）の比重が大きい（図3を参照）。⁵⁾

図3 花巻市の2018年の生産額内訳



出典：RESAS地域経済循環マップ「生産分析 産業分類」花巻市。

5) RESAS 地域経済循環マップ「生産分析 産業分類」花巻市。

(2) 農業

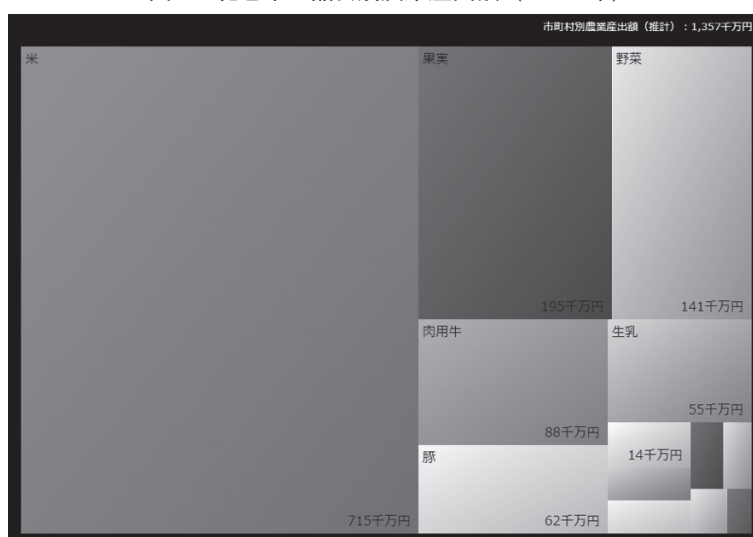
花巻市の農業に関するデータを見てみよう。2020年の農業センサスによれば、花巻市の耕地面積は15,700ha、農業就業人口⁶⁾は5,601人、農家数は4,648戸である。4,648戸の内訳は、自給的農家1,326戸、販売農家3,322戸である。販売農家数は2005年には6,688戸であったが、ほぼ半減した⁷⁾。農業経営体の総数は3,533経

営体、そのうちで団体経営体が159（そのうちで法人経営体が96）、個人経営体が3,374である。個人経営体の内訳は主業経営体614、準主業経営体668、副業的経営体2,092となっている⁸⁾。

2021年の品目別農業産出額は図4の通りである。

花巻市の農業を一言で言えば、県内屈指の米どころであり、稲作に園芸と畜産を組み合わせ

図4 花巻市の品目別農業産出額（2021年）



出典：RESAS産業構造マップ「農業 農業の構造 品目別 農業産出額」花巻市。

た複合経営が特徴である⁹⁾。2021年の産出額の上位は、順に米（71.5億円）、果実（19.5億円）、

野菜（14.1億円）、肉用牛（8.8億円）、豚（6.2億円）、生乳（5.5億円）となっている¹⁰⁾。花巻

6) 農業に60日以上従事した世帯員・役員・構成員数。

7) 花巻市「花巻市の農家数・水稻収穫量の推移」

<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/003/857/r3_06.pdf>

8) 農林水産省「わがマチ・わがムラ 市町村の姿 グラフと統計でみる農林水産業 詳細データ」花巻市。

9) これはJAいわて花巻（花巻農業協同組合）が所管する花巻市、北上市、西和賀町、遠野地方の農業の特徴として述べられているが、花巻市の農業の特徴としても妥当する。参照、JAいわて花巻「JAいわて花巻について 地域農業の特徴」.<<https://www.jahanamaki.or.jp/about/gaikyo/index.html#:~:text=%E5%9C%B0%E5%9F%9F%E8%BE%B2%E6%A5%AD%E3%81%AE%E7%89%B9%E5%BE%B4,%E3%81%8C%E6%9C%9F%E5%BE%85%E3%81%95%E3%82%8C%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82>>

10) RESAS 産業構造マップ「農業 農業の構造 品目別 農業産出額」花巻市。

市の米の作付面積は7,594haに及ぶ。岩手県内でも屈指の米産地である¹¹⁾。この他に小麦(1,197ha)、大豆(343ha)、雑穀(305ha)の作付も多い。果物ではりんご(268ha)が多い¹²⁾。

次に、農産物販売金額帯別の農家の割合を見てみよう。2020年には、100万円未満45.48%、100万円以上1,000万円未満49.19%、1,000万円以上5,000万円未満4.18%、5,000万円以上1億円未満0.79%、1億円以上0.33%となっている¹³⁾。同じく2020年の経営耕地面積は、総面積12,081ha、農家当たり平均は3.48haである。全国平均の3.05ha、岩手県平均の3.07haを上回る。その内訳は、0.3ha未満5.12%、0.3ha

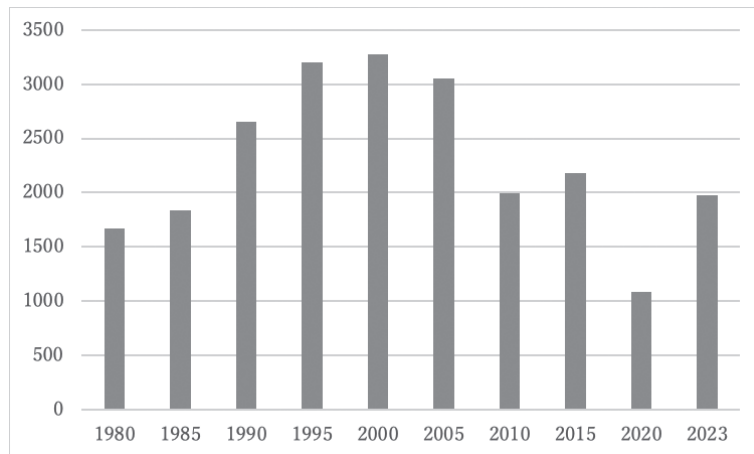
以上1.0ha未満35.70%、1ha以上10ha未満54.81%、10ha以上30ha未満2.51%、30ha以上1.86%である¹⁴⁾。

(3) 観光業

花巻市の観光客入込数の推移を図5に示した。2010年代に入ってから概ね年間200万人超で推移したが¹⁵⁾、2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で半減したものの、2023年には197万人強に回復した。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、今後は観光客入込数の回復が期待される。

観光地としての花巻市の強みとしては、まず

図5 花巻市の観光客入込数の推移（単位千人）



出典：花巻市『花巻市統計書 令和6年度』2024年10月、5頁。

11) 2022年度の花巻市のコメ作付面積は、奥州市に次ぐ岩手県内第2位となっている。参照、農林水産省「農林水産関係市町村別統計 令和4年産 水稻 岩手県」。<https://www.e-stat.go.jp/stat->

12) 2020年農業センサスによる。参照、農林水産省、前掲注9。10) RESAS産業構造マップ「農業 農業の構造 品目別 農業産出額」花巻市。

13) RESAS産業構造マップ「農業 農業者分析 農産物販売金額帯別の経営体の割合」花巻市。

14) RESAS産業構造マップ「農業 農地分析」花巻市。

15) 2010年以降は「観光入込客統計に関する共通基準」による集計である。都道府県内の観光地点及び行祭事・イベントを訪れた人を観光入込客と定義し、その数を観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に4半期ごとに報告を求めて全数調査する。参照、国土交通省観光庁「観光入込客統計に関する共通基準」2013年3月改定、2～3頁。

花巻温泉郷の温泉地としての魅力が挙げられる。南部藩の時代には藩お抱えの温泉としても愛されていた花巻温泉郷には、台川と豊沢川沿いを中心に12の温泉が湧き、「花巻12湯」と名付けられている¹⁶⁾。1温泉1源泉の個性の異なる温泉旅館が存在し、宿泊施設の収容人員は約6,200人に上る¹⁷⁾。観光地としての花巻市には、もう一つ、宮沢賢治の故郷であるという歴史・文化的な強みがある。「雨ニモマケズ」の詩や「注文の多い料理店」、「風の又三郎」を始めとする童話・文学作品で知られる宮沢賢治は、今日も根強い人気を保っている。花巻市には宮沢

賢治にちなむ複数の施設があり、多くの人が訪れる¹⁸⁾。観光地としての花巻市には、この他に空港、新幹線駅、高速道路インターチェンジなどの交通の利便性という強みもある¹⁹⁾。

他方で、観光地としての花巻市の弱みとしては、観光施設が点在しており、それらをつなぐ二次交通が発達していないこと、団体旅行の宿泊地として成長してきた経緯もあり、宿泊はするものの、宿泊前後での市内での滞在時間が短いこと等が挙げられる（表1）。

表1 観光地としての花巻市の強みと弱み

強み	弱み
温泉地としての魅力；1温泉1源泉の個性の異なる温泉旅館の存在；宿泊容量の大きさ（収容人員は約6,200人。）	連携の弱さ（観光施設が点在しており、ソフト面での連携が十分でない。）
日本百名山の早池峰山；夏涼しく、冬は雪に恵まれる。	二次交通の弱さ（点在する観光施設を移動する際の二次交通が十分とは言えない。）
食の魅力（発祥の地と言われるわんこそば、花巻ワイン、日本三大杜氏の1つである南部杜氏による日本酒。）	宿泊前後の花巻市内での滞在時間が短い。
歴史・文化（宮沢賢治の故郷、ユネスコ無形文化遺産である早池峰神楽。）	冬期の観光客が少ない。
交通アクセス（空港、新幹線駅、インターチェンジがそろい利便性の高さ。）	マーケットの偏り（インバウンドの多くは台湾からの旅行者、国内は団体客の割合が高い。）
スポーツ （花巻ゆかりのプロ野球選手の活躍。） ²⁰⁾	

出典：一般社団法人花巻観光協会『花巻観光振興ビジョン』2020年3月、8頁に基づき作成。

16) 一般社団法人花巻観光協会「いわて・はなまき花巻12湯」。<https://www.kanko-hanamaki.ne.jp/hanamaki12to/>

17) 参照、一般社団法人花巻観光協会『花巻観光振興ビジョン』2020年3月、8頁。

18) 後述1c(6)を参照。

19) 後述1e(2)を参照。

20) 菊池雄星、大谷翔平（2人とも花巻東高出身）、畠山和洋（湯口中一専修大学北上高ーヤクルト）他、プロ野球選手を輩出している。

次に、花巻市の観光にとってプラスあるいは
マイナスの影響となりうる主な外部環境の変化

を表2に挙げる。

花巻市の訪日外国人旅行者（インバウンド）

表2 花巻市の観光に影響を与える主な外部環境の変化

プラスの変化	マイナスの変化
訪日外国人旅行者の増加（台湾、中国からの旅行者の増加が見込まれる。）	旅行市場の変化（団体客の激減・個人化が進み、ネット予約が増加している。）
東北への注目の増加（東北観光への注目度が高まっている。）	人口の減少（日本全体の少子化が進行し、花巻市も人口が減少しており、労働力の不足にもつながる。）
国際便の存在（花巻－台北・上海の直行便が存在する。）	災害イメージの存在（地震や台風など自然災害のイメージが強い。）
高速道路の整備（釜石自動車道が整備される。）	自然環境の変化（地球温暖化の進行で、夏の涼しさが今後失われる可能性がある。）
新型コロナウイルス感染症の5類移行（外国人旅行者の渡航制限の緩和、国内旅行の回復が見込まれる。）	
NY タイムズ「2023年の旅行先」ランキング2位に盛岡が選ばれた ²¹⁾ 。	

出典：一般社団法人花巻観光協会『花巻観光振興ビジョン』2020年3月、8頁に基づき加筆。

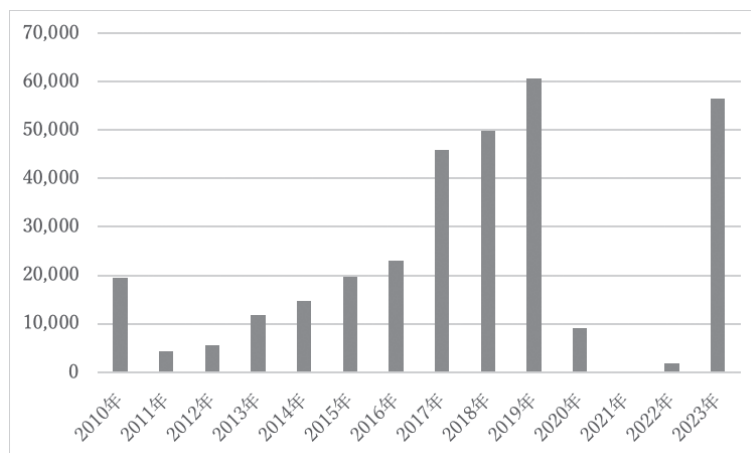
入込数は、2019年で年間6万人超となっていた。花巻市は早い時期から外国人旅行者受入れの推進に取り組んでおり、2010年には年間約2万人の外国人旅行者が訪れていた。2011年の東日本大震災により入込数は激減したが、2015年に震災前の水準を回復した。その後、いわて花巻空港への国際チャーター便・定期便の就航

²²⁾等により外国人旅行者入込数は急増したが、2020年から2022年は新型コロナウイルス感染症の影響で外国人旅行者入込数は激減した。新型コロナウイルス感染症の5類移行（2023年5月）と外国人旅行者の入国規制の緩和により、2023年の外国人旅行者入込数は回復した（図6）。今後は従前を上回る入込数の増加が期待できる。

21) “52 Places to Go in 2023”, New York Times, 12 January 2023.

22) 花巻－台北間の定期便は2018年8月、花巻－上海間の定期便は2019年1月に就航した。新型コロナウイルス感染症の影響で前者は2020年3月に、後者は2020年2月に運休した。前者は2023年5月に運航を再開した。

図6 花巻市の訪日外国人旅行者入込数の推移

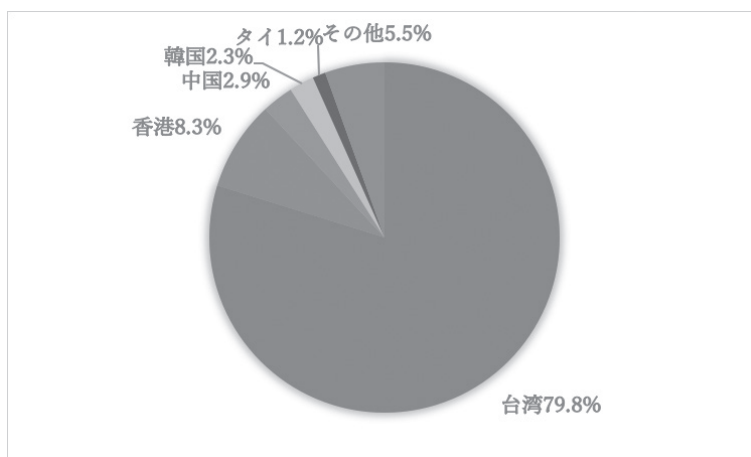


出典：花巻市観光課提供「訪日外国人観光客入込数」

図7は2018年に花巻市を訪れた外国人旅行者の国別内訳である。台湾からの旅行者が約8割を占めており、以下、香港（8.3%）、中国（2.9%）、韓国（2.3%）と続く。台湾からの旅行者の割合が高いのは、2018年8月にいわて花巻空港と台北桃園空港の間に定期航空便（週2便）が就航したこと²³⁾に加えて、仙台空港と

台北桃園空港の間の定期便（週17便）が就航していることが大きい。いわて花巻空港と仙台空港から入国し、東北地方を周遊する団体客のツアーの宿泊地に花巻温泉郷が選ばれていることが、台湾からの花巻訪問者の割合の高さの原因であると考えられる。

図7 花巻市の訪日外国人旅行者の国別内訳



出典：一般社団法人花巻観光協会『花巻観光振興ビジョン』2020年3月、3頁。

23) 毎週水、土曜日各1往復。この他に、毎週水、土曜日に上海との間で各1往復の定期便が就航していたが、2024年10月現在は運休中である。参照、いわて花巻空港航空ダイヤ（国際定期便）。<<https://www.hna-terminal.co.jp/international-flight/>>

(4) 産業別特化係数（2016年）

次に、花巻市の農業と宿泊業について、産業別特化係数²⁴⁾を見てみよう。農業の付加価値額の特化係数は1.66、従業者数の特化係数は2.93、これから算定される労働生産性の特化係数は0.46である。これに対して、宿泊業の付加価値額の特化係数は6.98、従業者数の特化係数は5.04、労働生産性の特化係数0.97である²⁵⁾。

いずれの産業も、付加価値額、従業者数の特化係数は全国の同産業の比率と比較して高く、花巻市の農業、宿泊業が全国に比べて特化していることを示している。他方で、労働生産性については、宿泊業がほぼ全国平均並みであるのに対して、農業は全国平均の約半分に留まっている。農業の労働生産性向上のためには、農地の集積による大規模化の追求、農業生産への株式会社・生産法人の参入、スマート農業の導入などの対策を講じる必要がある。花巻市では、1999年頃から、担い手減を想定し、集落営農の将来像（ビジョン）を作成し、それを元に法人化を進めてきた。2014年からは、農地中間管理法²⁶⁾に従って農用地の集積を進めてきた。2016年から2017年にはスマート農業のための環境整備を進め、公共施設にGPS基地局4基を

設置した。平場の農地での利用が可能となった²⁷⁾。また、農産物加工・販売と海外販路の開拓などの6次産業化の推進²⁸⁾に向けては、6次産業化推進事業や花巻クラフトワイン・シードルブランド化推進事業といった市単独事業により取り組んでいる²⁹⁾。

宿泊業に目を転じると、宿泊業の付加価値額の特化係数6.98、従業者数の特化係数5.04は、花巻市の宿泊業の稼ぐ力と労働力の確保がいずれも全国の宿泊業に比べて高いことを示している。これに対して、労働生産性の特化係数は0.97と全国平均並みであり、改善の余地がある。宿泊業の労働生産性をさらに向上させるためには、AIやIoTなどのデジタル技術を導入し、サービスのDX化を進めて、従業員一人当たりの付加価値額をさらに高めていく必要がある³⁰⁾。花巻温泉郷の宿泊施設等では、2020年からの新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大の影響により、宿泊者数が大幅に減少したが、国から地方自治体に交付された臨時交付金を活用した宿泊・日帰り入浴助成を国・県とともに実施したことや、国からの雇用調整助成金の宿泊施設等での活用により、従業員の雇用を維持することができた。しかし宿泊業者のDX対応が進んでいないという側面があるため、

24) 特化係数は、域内のある産業の比率を全国の同産業の比率と比較した数値である。1.0を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。参照、RESAS 産業構造マップ「産業別特化係数」。

25) RESAS 産業構造マップ「全産業 稼ぐ力分析 特化係数（付加価値額）【企業単位】」花巻市。

26) 正式名称は農地中間管理事業の推進に関する法律。平成 25 年法律第 101 号。

27) 花巻市農林部長、花巻農業協同組合営農部次長へのヒヤリング。2023 年 9 月 20 日。

28) 参照、農林水産省「農林漁業の 6 次産業化」。

<<https://www.maff.go.jp/j/nousin/inobe/6jika/index.html>>

29) 花巻市農林部長、花巻農業協同組合営農部次長へのヒヤリング。2023 年 9 月 20 日。

30) 参照、国土交通省観光庁「観光 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」。

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/digital_transformation.html>

一部宿泊施設では自動チェックイン機の導入など、DX対応に取り組んでいる³¹⁾。

(5) 在留外国人データ

2024年6月現在の花巻市の在留外国人数³²⁾は713人である(2024年6月)³³⁾。2024年11月末現在の総人口89,992人に占める割合は0.79%で、これは全国平均の3.51%³⁴⁾を大きく下回っている。在留資格別の内訳は、技術・人文知識・国際業務34人、技能5人、特定技能1号119人、技能実習1号78人、技能実習2号133人、技能実習3号31人、留学21人、特定活動³⁵⁾ 21人、永住者135人、日本人の配偶者等38人、特別永住者17人等となっている³⁶⁾。

c. 文化・交流

(1) 観光地の数・評価

大手旅行ウェブサイトのトリップアドバイザー

ザーで花巻市の「観光スポット」をクリックすると、トップは宮沢賢治記念館である(口コミ数189)。宮沢賢治童話村(口コミ数129)、イギリス海岸(口コミ数51)、大沢温泉(口コミ数49)、花巻温泉バラ園(口コミ数36)、早池峰山(口コミ数34)が続く³⁷⁾。花巻出身の宮沢賢治ゆかりの観光スポットが上位を占めており、宮沢賢治が花巻市の有力な観光資源であることがわかる。これに続く上位に大沢温泉、花巻温泉郷(口コミ数32)、台温泉(21件)が挙げられている。東北有数の温泉郷として知られた花巻温泉郷の知名度の高さを裏付けている。

(2) 国指定文化財の件数

花巻市は文化財に恵まれている。国指定有形文化財は重要文化財6件(旧小原家住宅等建造物3件、彫刻3件)、民俗文化財は有形民俗文化

31) 花巻市商工観光部観光課長へのヒヤリング。2023年9月20日。

32) 3カ月以上の在留資格を持つ外国人(中長期滞在者)及び特別永住者を指す。参照、法務省「在留外国人統計表 22-06-ex-1 【参考】用語の解説(中長期在留者、在留外国人及び総在留外国人について)及び在留資格一覧表」。26) 正式名称は農地中間管理事業の推進に関する法律。平成25年法律第101号。

33) 法務省「在留外国人統計 表 24-06-t2 市区町村別 在留資格別 在留外国人」花巻市。

34) 2024年6月現在の在留外国人総人口4,351,638人、日本の総人口(概算値)1億2,389万人。

35) 在留資格「特定活動」は「法務大臣が個々の外国人について特に指定する活動」を指す。出入国管理及び難民認定法別表第一の五の表の下欄イ～ニに記載された法定特定活動(特定研究等活動、特定情報処理活動、特定研究等家族滞在活動、特定情報処理家族滞在活動)の他、法務大臣の告示により指定された告示特定活動(2020年3月時点で49種類)がある。参照、法務省出入国在留管理庁「出入国管理法令等」。

36) 参照、法務省前掲注33。

37) トリップアドバイザー「花巻市 観光スポット」2024年10月15日。<https://www.tripadvisor.jp/Search?q=%E8%8A%B1%E5%B7%BB%E5%B8%82%E3%80%80%E8%A6%B3%E5%85%89%E3%82%B9%E3%83%9D%E3%83%83%E3%83%88&geo=1&ssrc=a&searchNearby=false&searchSessionId=000cd2e338e44c6b.ssid&blockRedirect=true&offset=0>

財（南部杜氏の酒造用具）と無形民俗文化財（早池峰神楽）各1件を数える。³⁸⁾

(3) 県・市指定文化財件数

岩手県指定文化財は有形文化財17件、有形民俗文化財1件、無形民俗文化財10件を数える³⁹⁾。花巻市指定文化財も数多い。有形文化財124件、無形文化財2件、有形民俗文化財1件、無形民俗文化財55件に上る⁴⁰⁾。

(4) 天然記念物

国指定の特別天然記念物が1件ある。早池峰山及び薬師岳の高山帯・森林植物群落であり、早くも1928年2月7日に指定された。この他に、宮沢賢治の作品に関連するイーハトーブの風景地3件（釜淵の滝、イギリス海岸、五輪峠）が

名勝に指定されている⁴¹⁾。

(5) 景観まちづくりへの貢献度

国土交通省が進めている景観計画、景観まちづくり刷新モデル地区の指定は花巻市にはない。都市景観大賞（平成22年度以前は美しいまちなみ賞）も該当がない。

(6) 美術館数・博物館数

花巻市内の主要な美術館・博物館は7施設ある。市営の花巻市博物館⁴²⁾、花巻新渡戸記念館⁴³⁾、高村光太郎記念館⁴⁴⁾、萬鉄五郎記念美術館⁴⁵⁾、宮沢賢治記念館⁴⁶⁾、宮沢賢治イーハトーブ館⁴⁷⁾、宮沢賢治童話村⁴⁸⁾である。

特筆すべきは、花巻出身の宮沢賢治ゆかりの3施設である。このうち、宮沢賢治記念館

38) 花巻市「国指定文化財」

<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/bunkazai/1002090.html>> なお、早池峰神楽は2009年にユネスコの無形文化遺産に登録された。

39) 花巻市「岩手県指定文化財」。

<<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/bunkazai/1002091.html>>

40) 花巻市「市指定文化財」。

<<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/bunkazai/1002085.html>>

41) 花巻市「国指定文化財」（前掲注34）。

42) 花巻市博物館。 <<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/1008981/index.html>>

43) 花巻新渡戸記念館。

<<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/nitobekinenkan/1001975.html>>

44) 高村幸太郎記念館。

<<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/takamurakotarokinenkan/1003423.html>>

45) 萬鉄五郎記念美術館。

<<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/yorozutetsugoro/1002101.html>>

46) 宮沢賢治記念館。

<<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/miyazawakenji/kinenkan/index.html>>

47) 宮沢賢治イーハトーブ館。

<<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/miyazawakenji/ihatov/index.html>>

48) 宮沢賢治童話村。

<<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/miyazawakenji/dowamura/index.html>>

は、「宮沢賢治の世界との出会いの施設」であり、スクリーン映像・関係資料による解説と作品に至る創作過程、最新の研究成果などを展示紹介する⁴⁹⁾。宮沢賢治イーハトーブ館は、宮沢賢治に関する多数の図書や研究論文の他、様々なジャンルの芸術作品を収集・整理・公開しており、誰でも自由に賢治の世界に触れることができる⁵⁰⁾。宮沢賢治童話村は、賢治童話の世界で

楽しく学ぶ「楽習」施設である⁵¹⁾。中でも、宮沢賢治記念館と宮沢賢治童話村は、新型コロナウイルス感染症流行前の2019年度には10万人を超える入場者が訪れた。新型コロナウイルス感染症の流行で入場者数は半減したが、5類移行後の2023年には入場者数は再び10万人を超えた⁵²⁾。

写真 1 宮沢賢治記念館内部



出典：一般社団法人花巻観光協会「宮沢賢治記念館」。

(7) 観光イベント

花巻市が内外の観光客を惹き付けるきっかけとなるイベントはないだろうか。一般社団法人花巻観光協会のウェブサイトで「イベントカレン

ダー」をチェックしたところ、以下のイベントが開かれていることがわかった（表3を参照）。年間を通じて様々なイベントが開催されている。

49) 前掲注 46 参照。

50) 前掲注 47 参照。

51) 前掲注 48 参照。

52) 花巻市『花巻市統計書 令和 6 年版』、2024 年、99-100 頁。

表3 花巻市の観光イベント (2023 年)

時期	イベント名	会場
1 月下旬から 2 月中旬の日曜日	スカイランタンイベント『はなまき星めぐりの夜』	鉛温泉スキー場
2 月初旬から 3 月初旬まで	花巻温泉郷の雛まつり	花巻温泉郷 各宿泊施設
2 月 11 日	わんこそば全日本大会	花巻市文化会館
4 月 23 日	早池峰大償（おおつぐない）神楽 春の舞	神楽の館
4 月 30 日	早池峰神楽公演 桜の舞	大迫郷土文化保存伝習館
6 月～ 10 月	八幡田んぼアート	花巻市石鳥谷八幡
6 月 11 日	早池峰山山開き	早池峰山
7 月 1 日～ 29 日	はなまき宵宮	市内各地
8 月 1 日	早池峰神社例大祭	早池峰神社
8 月 14 日、16 日	大迫あんどんまつり	大迫町大迫地区内
8 月 26 日、27 日	イーハトーブフェスティバル	宮沢賢治童話村 特設ステージ
9 月第 2 土曜日前後 3 日間	花巻まつり	花巻市内
9 月 21 日	賢治祭	雨ニモマケズ詩碑
10 月中旬	土澤アートクラフトフェア秋	土澤商店街、萬鉄五郎記念美術館前庭
11 月 23 日	倉沢人形歌舞伎	倉沢人形歌舞伎伝承館

出典：一般社団法人花巻観光協会「イベントカレンダー」に基づいて作成。

<<https://www.kanko-hanamaki.ne.jp/event/>>

(8) 宿泊施設客室数

花巻市の宿泊施設の整備状況を見てみよう。
じゃらん net「花巻市」で宿泊施設は31件ヒットした。客室数の合計は1,515室である⁵³⁾。花巻温泉郷に大小多数の宿泊施設が存在する他、

鉄道駅や高速道インターチェンジ付近には100室超のビジネスホテル2軒がある。

(9) 観光案内所・公衆無線LAN（Wi-Fi）アクセスポイント

53) じゃらん net「花巻市」の31 宿泊施設の客室数の合計。

海外からの旅行者の受入れ増に当たっては、宿泊施設の整備に加えて、多言語対応の観光案内所を設けること、外国人が無料で利用できる公衆無線 LAN (Wi-Fi) アクセスポイントを整備することが重要である。花巻市に多言語対応の観光案内所は5箇所ある。JR 新花巻駅構内の花巻観光センター、⁵⁴⁾ 道の駅 石鳥谷、JR 花巻駅の花巻観光案内所、花巻観光協会、⁵⁵⁾ いわて花巻空港総合案内所⁵⁶⁾ である。

花巻市は市内の公共施設等34か所に公衆無線 LAN (Wi-Fi) アクセスポイントを設置している。宮沢賢治記念館等の市営施設、道の駅石鳥谷、道の駅とうわ、鉛温泉スキー場 (冬季のみ) など、主要な観光施設に設置されている⁵⁷⁾。この他、いわて花巻空港⁵⁸⁾、一部の宿泊施設や飲食店⁵⁹⁾ でも公衆無線 LAN (Wi-Fi) アクセスポイントを設置している。

(10) 休日の人の多さ

花巻市の観光についてのデータとして、休日の滞在人口率を見てみよう。2021年の休日午後2時の各月の滞在人口の平均を2020年の国勢調査人口 (15歳以上80歳未満) で除した数値は1.03となっている⁶⁰⁾。休日に総人口の3%程度の人が花巻市を訪れたことを示している。

(11) 行楽・観光目的の訪問の多さ

花巻市を訪問した人のうち、行楽・観光目的の訪問者の割合は2024年で9.0%であった。岩手県の平均6.1%、全国平均7.2%を上回っている。以下、ビジネス (出張等) のため4.8%、親戚・家族・友人の訪問のため2.1%、居住や通学・通勤1.9%と続く⁶¹⁾。

(12) 訪日外国人旅行者訪問数 (2019年)

新型コロナウイルス感染症流行以前の2019年の訪日外国人旅行者の訪問者数 (昼間 (10-18時) の滞在者数) の月平均は4,143人であっ

54) 英語はパートタイムで対応。中国語と韓国語は多言語翻訳システムで対応。参照、日本の認定外国人観光案内所 (TIC) 「花巻観光センター」。<https://tic.jnto.go.jp/jpn/detail.php?id=1409>>53) RESAS 企業活動マップ「企業情報 創業比率」花巻市。

55) 以上3施設は英語のみパートタイムで対応。参照、日本の認定外国人観光案内所 (TIC) 「道の駅 石鳥谷」。<https://tic.jnto.go.jp/jpn/detail.php?id=1567>>; 同「花巻観光案内所」。
<https://tic.jnto.go.jp/jpn/detail.php?id=1408>>; 同「花巻観光協会」。
<https://tic.jnto.go.jp/jpn/detail.php?id=1407>>

56) 英語、中国語、韓国語に多言語翻訳システムで対応。参照、同上「いわて花巻空港総合案内所」。
<https://tic.jnto.go.jp/jpn/detail.php?id=4487>>

57) 花巻市「花巻市公衆無線 LAN (Wi-Fi) 設置施設一覧」https://www.city.hanamaki.iwate.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/001/237/ichiran_shisetsu.pdf>

58) いわて花巻空港「よくあるご質問 館内の Wi-Fi 環境は?」。<https://www.hna-terminal.co.jp/qanda/>>

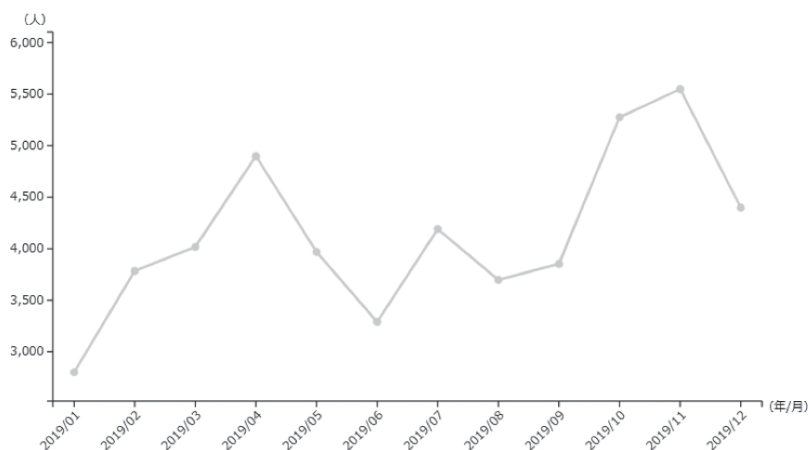
59) NAVITIME「岩手県花巻市の無線 LAN/Wi-Fi スポット」。
<https://www.navitime.co.jp/category/0506013/03205/>>

60) RESAS まちづくりマップ「滞在人口率」花巻市。

61) 株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査 2024」における「個別分析シート (5) 訪問経験 / 地域資源 評価指標 N 訪問経験」の値 (%)。

た⁶²⁾。図8に月別の訪問数の推移を示した。春と秋の2回、訪問者のピークが認められる。

図8 訪日外国人旅行者訪問数の推移（2019年）



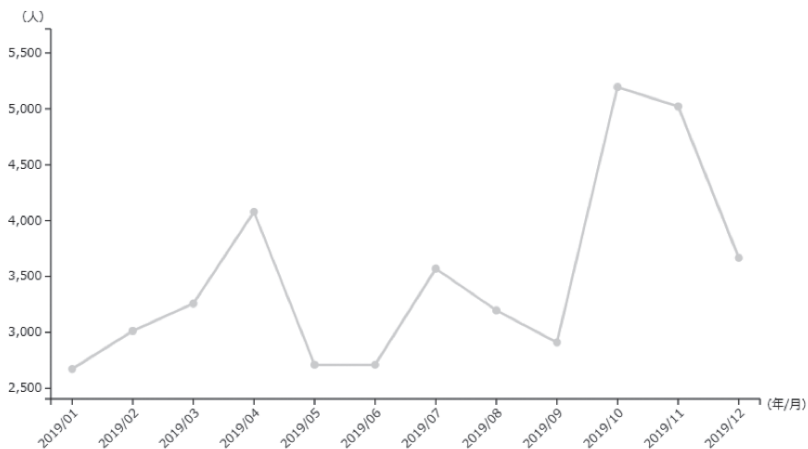
出典：RESAS観光マップ「外国人滞在分析 地域別滞在者数の推移 昼間（10－18時）」花巻市。

(13) 訪日外国人旅行者宿泊数

2019年の訪日外国人旅行者の宿泊者数（夜間（2-5時）の滞在者数）の月平均は3500人であっ

た⁶³⁾。図9は2019年の月別の宿泊滞在数の推移である。訪問数と同様、春と秋に宿泊者のピークがある。

図9 訪日外国人旅行者宿泊数の推移（2019年）



出典：RESAS観光マップ「外国人滞在分析 地域別滞在者数の推移 夜間（2－5時）」花巻市。

62) RESAS 観光マップ「外国人滞在分析 地域別滞在者数の推移 昼間（10－18時）」花巻市。

63) RESAS 観光マップ「外国人滞在分析 地域別滞在者数の推移 夜間（2－5時）」花巻市。

(14) 国際会議開催件数

2012年から2021年までの10年間に花巻市で開催された国際会議はなかった⁶⁴⁾。

(15) 観光客誘致活動

一般社団法人花巻観光協会が2020年10月に、観光地域づくり法人 (destination management organization, DMO) として観光庁に登録された⁶⁵⁾。協会のウェブサイトは、観る、泊まる、遊ぶ、食べる、お土産のバナーで観光地や宿泊施設を詳しく紹介するとともに、観光モデルコースを紹介しており、花巻市の観光案内として充実した内容となっている⁶⁶⁾。英語版、中文繁体、中文簡体、ハングルとタイ語のウェブサイトが設けられており、温泉、食事、イベント、モデルコースのバナーが貼られている他、ガイドブック、フェイスブックのリンクが貼られている。海外からの観光客のニーズに応える充実した内容である。

2019年、花巻市は、遠野市、平泉町と連携し、デジタル版多言語観光パンフレットを作製した。英語を始めとする12か国語版が作成され、インバウンド誘致に向けて活用されている⁶⁷⁾。

(16) 自治体SNSフォロワー数

花巻市が発信しているSNSのフォロワー数を見てみよう。2024年10月現在、Facebook花巻市のフォロワーは3,683人、Twitter花巻市のフォロワーは6,355人、YouTube花巻市のチャンネル登録者は633人である。

(17) 魅力度・認知度・観光意欲度

「地域ブランド調査2023」における花巻市の魅力度・認知度・観光意欲度の合計は89.2点であった。魅力度は20.5点（前年18.6点）で全国順位は143位である。認知度は39.6点（前年39.6点）で全国順位は147位である。観光意欲度は28.6点（前年31.0点）で全国順位は172位である。いずれも全国平均を大きく上回っている。なお、岩手県内の順位は、魅力度、認知度、観光意欲度いずれも2位⁶⁸⁾。いずれの項目でも1位は盛岡市であった⁶⁹⁾。

花巻市の地域資源に対する評価結果を見ると、全国平均を上回っているのは「海・山・川・湖などの自然が豊か」31.0%（全国平均17.2%）、「歴史人物、著名人、職人などにゆかりがある」13.7%（全国平均4.8%）、「スポーツの参加・観戦が楽しめる」12.1%（全国平均3.6%）、「食事がおいしい」7.4%（全国平均6.4%）、「地元産の食材が豊富」6.9%（全国平均5.7%）など

64) 日本政府観光局「2021年国際会議統計 資料編1 国内都市別 国際会議開催件数一覧表」。

<https://mice.jnto.go.jp/assets/doc/survey-statistical-data/cv_tokei_2021_shiyohen1_1.pdf>

65) 一般社団法人花巻観光協会「一般社団法人花巻観光協会が観光地域作り法人（DMO）として登録されました」2020年10月19日。<<https://www.kanko-hanamaki.ne.jp/report/article.php?p=891>>

66) <<https://www.kanko-hanamaki.ne.jp/>>

67) 花巻市「インバウンド推進のためのデジタル版多言語観光パンフレットを作製しました!」。

<<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/kanko/promotion/1007456/index.html>>

68) 参照、「地域ブランド調査2024」（前掲注57）「個別分析シート（1）魅力度 A 主要結果一覧」花巻市。

69) 参照、同前の盛岡市のデータ。

の項目である⁷⁰⁾。地域資源評価を総合した資源の偏差値は総合で56.5（全国で151位）、内訳では自然資源が55.3、歴史資源が58.3、サービス資源が63.2と、いずれも全国平均（偏差値50.0）を上回っている。他方で、モノ資源の偏差値は49.2と全国平均（偏差値50.0）を若干下回った⁷¹⁾。

豊かな自然と温泉、そして宮沢賢治ゆかりの地という歴史・文化資源が花巻市の観光地としての魅力の源泉と言える。

ただし、地域ブランド調査の回答者は日本人であり、海外からの旅行者が含まれないことには注意が必要である。

(18) 日本人大学生の海外留学・海外派遣

次に、人の交流を通じた花巻市のグローバル・プロファイリングを試みたい。まず、日本人大学生の海外留学・海外派遣について。富士大学のウェブサイトによれば、富士大学は中国の3大学、米国の2大学と国際交流協定を結んでおり、学生の相互派遣、短期研修（1～2週間）、海外留学（半年単位）を実施している⁷²⁾。

(19) 姉妹都市提携数

花巻市は、米国アーカンソー州ホットスプリングス市(1993年1月)、バーモント州ラッ

ランド市(1986年10月)との間で国際姉妹都市の提携を結んでいる。また、オーストリアニーダーエスタライヒ州ベルンドルフ市(1965年10月)、中国遼寧省大連市西崗区(2008年1月)との間で国際友好都市の提携を結んでいる。この他に、米国ウィスコンシン州クリントン村(1988年)、英国スコットランドのシェットランド諸島(1990年)との間で交流関係を結んでいる。後述する通り、これらの都市とは中学生の派遣・受入れ事業を始めとして活発な交流事業を行っている。国内では神奈川県平塚市(1984年)との間で友好都市の関係を、青森県十和田市(1989年)と新渡戸友好都市の関係を結んでいる⁷³⁾。

(20) 姉妹都市への青少年海外派遣事業

ホットスプリングス市、ラットランド市、クリントン村との間で、中学生の派遣・受入れ事業を行っている。ベルンドルフ市との間では中学生・大迫高校生の派遣と先方のギムナジウム生の受入れ事業を行っている⁷⁴⁾。新型コロナウイルス感染症のため、2020年から2022年の事業は中止されたが、2023年に再開された。中学生の派遣事業では探求学習に注力しており、派遣先でテーマに沿ったインタビューなどを実施し、帰国後の報告会でその成果を発表する。

70) 参照、「地域ブランド調査 2023」(前掲注 57)における「市区町村の地域資源に対する評価 (Q8)」花巻市。

71) 参照、「地域ブランド調査 2023」(前掲注 57)における「個別分析シート (5) 地域資源評価指標」花巻市。

72) 富士大学「語学研修・海外留学」。<http://www.fuji-u.ac.jp/life/international>

73) 花巻市「国際姉妹・友好都市、国内友好都市」。<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/hanamakicity/shimaiyukotoshi/1002445.html>

74) 同前。なお、参照、花巻市「花巻市多文化共生推進プラン」2023年3月、18頁。(「中高生を対象とした姉妹都市との海外相互派遣を実施し、地域の国際化に貢献する人材を育成するとともに、海外とのネットワークを構築します。」)

事業は花巻市と花巻国際交流協会の共催である。受入れでは花巻市の各地区が主体となって活発な交流を行っている。OB/OGなどで構成される友好会の協力が支えとなっている⁷⁵⁾。

(21) 高等学校による海外派遣事業

ホツスプリングス市のレイクサイド高校と花巻東高校は姉妹校提携関係にあり、高校生の派遣・受入れ事業を行っている。2016年には花巻北高校もアークンソー数理芸術高校と姉妹校提携関係を結び、生徒の派遣・受入れを開始した。新型コロナウイルス感染症のため、派遣・受入れ事業は中断を余儀なくされたが、2023年に復活した。バルンドルフ市との間では、大迫高校生の派遣、先方のギムナジウム生徒の受入れ事業を行っている⁷⁶⁾。

d. 生活・居住

(1) 外国人住民の受入れ体制

花巻市は外国人住民にどのようなサービスを提供しているだろうか？⁷⁷⁾

まず、生活全般に関わる多言語による情報提供として、花巻市ホームページは、自動翻訳サー

ビスを利用して、英語・ベトナム語・中国語・韓国語など131言語に翻訳される。外国からの転入者向けに家庭ごみ収集カレンダーを多言語（英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語）で提供している。外国人住民向け生活相談は、公益財団法人花巻国際交流協会及び花巻市生涯学習部生涯学習課国際交流室が対応しているほか、花巻市ホームページには外国人住民の困りごとの相談を受け付けるいわて外国人県民相談・支援センターへのリンク⁷⁸⁾が貼られている。また、公益財団法人花巻国際交流協会が、ゴミの分別や防災訓練など日本の生活・文化を理解するための生活講座・日本文化体験講座を開催している⁷⁹⁾。母子健康手帳は4か国語（英語、中国語、韓国語、タガログ語）で交付されている⁸⁰⁾。教育に関して、公益財団法人花巻国際交流協会が主催して日本語講座（習熟度別、30回）を開催している⁸¹⁾。市は日本語を教えるボランティア団体を後援している⁸²⁾。

防災に関しては、多言語での災害情報提供として、131言語の翻訳にアクセスできる花巻市ホームページを通じた情報提供を行っているほ

75) 花巻市生涯学習部生涯学習課国際交流室次長へのヒヤリング。2023年9月19日。

76) 花巻市生涯学習部生涯学習課国際交流室次長へのヒヤリング。2023年9月19日。

77) 以下の調査項目については、日本国際交流センターによる「多文化共生と外国人受け入れについてのアンケート調査 2017」調査報告書（<https://www.jcie.or.jp/japan/wp/wp-content/uploads/2018/03/Survey-Report-2017_Original.pdf>）と日経リサーチによる調査結果（「外国人共生、支援に遅れ 主要市区に専門窓口なし 6割」日本経済新聞電子版、2019年2月8日に調査結果掲載）等を参考にした。

78) <<https://iwate-ia.or.jp/?p=3-1-consultations>>

79) 公益財団法人花巻国際交流協会「定住外国人支援」。<<https://hanakokusai.wordpress.com/category/%5c8d%94%e4%bc%9a%e4%ba%8b%e6%a5ad/%e5%ae%9a%e4%bd%8f%e5%a4%96%e5%9b%bd%e4%ba%ba%e6%94%af%e6%8f%b4/>>

80) 花巻市健康福祉部健康づくり課課長補佐へのヒヤリング。2023年9月20日。

81) 公益財団法人花巻国際交流協会「日本語講座」。<<https://hanakokusai.wordpress.com/category/%e6%97%a5%e6%9c%ac%e8%aa%9e%e8%ac%9b%e5%ba%a7/>>

82) 花巻市生涯学習部生涯学習課国際交流室次長へのヒヤリング。2023年9月19日。

か、避難所周辺の道路に設置する誘導看板についても多言語対応を進めている。

(2) 外国人の住民投票権

花巻市は外国人に住民投票権を認めていない⁸³⁾。

(3) 小売事業所密度(人口1万人当たり事業所数)

生活し居住する場所として花巻市を見る場合、暮らしやすさを示すいくつかの指標が挙げられる。まず、統計データが参照できる2014年の経済センサスにより、小売の事業所数を見てみよう。小売事業所の総数は887である。その内訳は、「各種商品小売業」が3、「織物・衣服・身の回り品小売業」が98、「飲食料品小売業」が252、「機械器具小売業」が124、「その他の小売業」が371、「無店舗小売業」が39となっている⁸⁴⁾。

小売事業所総数を2014年の人口で除した人口1万人当たり事業所数は88.9である。

(4) 飲食店舗密度

次に、花巻市の飲食店数を見てみよう。飲食店の総数は478、持ち帰り・配達飲食サービスの事業所数は57である⁸⁵⁾。以上を合わせた2014年の人口1万人当たりの飲食店数は47.9である。

(5) コンビニ密度

最後に、花巻市のコンビニエンスストアの店舗数を見てみよう。全部で45店舗である⁸⁶⁾。2024年11月の人口1万人当たりのコンビニ数は5.0である。

e. 交通・アクセス

花巻市の交通・アクセスについて特筆すべきは、空港、新幹線、インターチェンジなど、遠距離交通の利便性の高さである。岩手県唯一のいわて花巻空港が立地する他、東北新幹線新花巻駅、東北自動車道花巻インターチェンジが立地しており、交通の要衝となっている。

(1) 公共交通の利便性

まず、公共交通の利便性について。岩手県の地方自治体に共通する特色であるが、花巻市も「マイカー社会」であり、居住者の多くは自家用車で移動する。通勤・通学の足としての公共交通としてはバスと鉄道が挙げられるが、そのサービスは万全とは言えない。他方で、花巻市では、市内での移動手段を確保し、住民の利便性を向上させるべく、市中心部の周回ルートを行なう市街地循環バス「星めぐり号」、「ふくろう号」を行なっている。料金は1乗車100円、小学生、身体障がい者手帳、療育手帳等の保持者は50円、未就学児は無料である⁸⁷⁾。また、5地区で予約乗合バス・タクシー（利用者の電

83) ウィキペディア「住民投票条例 投票資格の範囲」。

84) 「平成 26 年経済センサス基礎調査結果 事業所に関する集計」の花巻市のデータ。

85) 同上。

86) i タウンページ「コンビニエンスストア 岩手県花巻市」での検索結果。

87) 花巻市「市街地循環バス『星めぐり号・ふくろう号』」。https://www.city.hanamaki.iwate.jp/kurashi/sumai_seikatsu/bus_parking_airport/1001114/1008653/1001116.html

話予約に対応して、自宅等から市内の目的地まで運行する形態)を運行している。料金は片道400円、小学生、身体障がい者手帳、療育手帳等の保持者は150円、未就学児は無料である(湯口地区のみ、利用者の電話予約により決められた路線を運行する定期便運行で、利用するバス停によって料金は100円から300円、小学生、身体障がい者手帳、養育手帳等の保持者にはその半額、未就学児は無料)⁸⁸⁾。市街地循環バス・タクシー及び予約乗合バスの利用実績は、前者が2022年に計84,391人、後者が2022年に5地区合計で16,278人であった⁸⁹⁾。

(2) 空港アクセス時間の短さ

市内にいわて花巻空港が立地している。最寄りのJR花巻空港駅から約4kmの位置にある。岩手県で唯一の空港である。札幌(新千歳)、名古屋(小牧)、大阪(伊丹)、神戸、福岡との間で国内定期便が発着する他、台北、上海⁹⁰⁾との間で国際定期便が発着する。

(3) 新幹線の利用しやすさ

花巻市内には東北新幹線新花巻駅がある。東北本線花巻駅からは釜石線で2つ目の駅である。

(4) インターチェンジ数

花巻市内には東北自動車道花巻IC・花巻南

IC、釜石自動車道花巻空港IC・東和ICが立地している。

2. 花巻市のグローバルデザインの提案

花巻市のグローバル・プロファイリング結果を踏まえて、花巻市のグローバルデザインとして以下の3項目に関する提案を行う。

- a. 観光の振興
- b. 農産物輸出の振興
- c. 外国人住民の共生に向けた働きかけ

a. 観光の振興

【ビジョン】

花巻市の観光地としての魅力を高め、国内観光客、外国からの観光客それぞれの特性とニーズに応じた訴求力を向上させる。

花巻市には、花巻温泉郷、宮沢賢治ゆかりの施設、豊かな食、ととのった交通インフラ(鉄道、空港、高速道路)に代表される貴重な観光資源があり、それを目当てに内外の多くの観光客が花巻市を訪れている。観光客は新型コロナウイルス感染症の流行で激減したが、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により再び増加する傾向にある。2023年に花巻市を訪れた内外の観光客は2019年の実績の9割強まで回復した⁹¹⁾。今後は2019年の実績を上回る内外の観光客の受入れを目標として関係者(花巻

88) 花巻市「デマンド型交通(予約乗合バスなど)」。<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/kurashi/sumai_seikatsu/bus_parking_airport/1001114/1008651/index.html>

89) 花巻市建設部都市政策課の情報提供による。

90) 2024年10月現在は運航していない。前掲注23を参照。

91) 国内の観光客入込数は、2019年の211.7万人に対して2023年は197.4万人であった。参照、花巻市、前掲注48、5頁。インバウンドの観光客入込数は、2019年の60,595人に対して2023年は56,519人であった。参照、花巻市商工観光部観光課資料。

市、花巻観光協会、観光施設、宿泊施設、飲食店など）が取り組むことが求められる。

観光の振興に当たっては、国内の観光客と外国からの観光客とで異なった課題がある。国内の観光客については、高度成長期に大きな比重を占めた団体旅行の割合が減り、個人旅行の割合が圧倒的に大きくなっていること⁹²⁾を踏まえて、個人旅行者にとっての花巻市の魅力を高め、花巻市での滞在時間を伸ばすことが重要である。外国からの観光客については、国内の個人旅行者にとっての花巻市の魅力を高めるための方策に加えて、外国観光客の伸びにつながる方策を講じることが求められる。具体的には、外国からの観光客のニーズの高い受け入れ環境の整備を進めること、海外における宮沢賢治の知名度を高めること、台湾からの旅行者の比重が大きい現状を踏まえて、台湾からの旅行者を引き続き確保しながら、それ以外の国・地域からの旅行者の比重を高めていくことなどの方策を講じる必要がある。

【課題】

このビジョンを達成するに当たって取り組むべき課題としては、リピーターを含む国内の個人旅行者向け観光地としての花巻市の魅力の向上、リピーターを含む外国からの観光客に向けての花巻市の魅力の向上が挙げられる。

【課題1】リピーターを含む国内の個人旅行者向け観光地としての花巻市の魅力の向上

花巻温泉郷と宮沢賢治ゆかりの施設に代表される花巻市の観光資源は、国内の多くの観光客をひきつけている。花巻温泉郷の個人旅行者向け観光地としての魅力を高めるためには、第一に、リピーターを含む個人旅行者の宿泊先としての花巻温泉郷の魅力の向上につながる方策をとることが求められる。例えば、浴場の改修、客室の洋室化などの宿泊施設の改修は有効である。2022年から2024年の3年間にわたり、花巻市の地域計画が観光庁「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」（2022年度）、「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」（2023年度～2024年度）に採択され、花巻温泉郷の地域計画に参加する宿泊施設の高付加価値化改修に補助金が得られた⁹³⁾。リピーターを含む個人旅行者向け観光地としての花巻温泉郷の魅力向上につながる事が期待できる。

リピーターを含む個人旅行者の花巻市での滞在日数を伸ばすため、花巻12湯の中で宿泊場所を変えながら滞在する宿泊プランを宿泊施設が共同して提案することも考えられる。また、花巻温泉郷に留まらない花巻市の観光地としての魅力を個人旅行者にアピールすることが重要である。そのため、宮沢賢治などの花巻ゆかり

92) JTB の調査によれば、2022 年の旅行形態別の割合は、個人旅行が 90.7%、団体旅行が 4.8%であった。参照、公益財団法人日本交通公社『旅行年報 2023』8 頁。

93) 参照、令和 4 年「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」第 2 回審査会 採択案件一覧。

<<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001493826.pdf>> 令和 5 年～令和 6 年「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」第 1 回審査会 採択案件一覧。

< https://kankosaisei-chiiki.net/assets/file/saitaku_1_0530.pdf >

の人物を学ぶツアー、ユネスコ無形文化遺産に指定されている早池峰神楽の鑑賞⁹⁴⁾、農業体験⁹⁵⁾、自然体験⁹⁶⁾、わんこそば⁹⁷⁾や冷麺⁹⁸⁾など、地域資源を生かした各種のプログラムを創出し、温泉滞在と組み合わせることで、観光地としての花巻市の魅力を向上させることが可能となる⁹⁹⁾。

観光地としての花巻市の魅力向上には、前提条件として、宮沢賢治関係の施設を始めとする花巻市内の観光資源への個人旅行者のアクセスを改善することが重要である。宿泊する温泉エリアと市内の観光スポットの間、また、一次交通の拠点（新花巻駅、花巻駅、いわて花巻空港）と温泉エリアや宮沢賢治関連施設などの市内の観光スポットの間を容易に移動することができるよう、二次交通を充実させる必要がある。循環バス・送迎バスや乗り合いタクシー、レンタサイクルなどを活用すること、また、今後の技術開発の動向も踏まえたMaaS¹⁰⁰⁾や自動運転

バスの導入可能性なども含めて、二次交通の整備・充実を進めることが必要である¹⁰¹⁾。

国内の個人旅行者にとっての花巻市の魅力向上を図るための新たな試みとして、地図を頼りに花巻市内の観光地(チェックポイント)を所定の制限時間内にチームで回り、得点を競う、ロゲイニングの大会を開催することを提案する。¹⁰²⁾ 日本では、チェックポイントに到達した記録を写真撮影する、フォトロゲイニングの大会が各地で行われるようになっており、全国組織（一般社団法人 日本フォトロゲイニング協会）も存在する¹⁰³⁾。地図を頼りに花巻市内を回るフォトロゲイニングは、参加者が地域を知ることにつながる。得点を競う競技ではあるが、全ての参加者が自分たちに見合ったペースで楽しむことができる。花巻市の魅力を参加者が体験するためのイベントとして、開催を検討してはどうだろうか。

94) 参照、一般社団法人花巻観光協会「ユネスコ無形文化遺産 早池峰神楽」

<<https://www.kanko-hanamaki.ne.jp/special/kagura/>>

95) 参照、一般社団法人花巻観光協会「SDGs 探究旅行 いわて花巻体験プログラム 農業体験コース」

<https://www.kanko-hanamaki.ne.jp/special/sdgs_program/nougyou/>

96) 参照、花巻市「花巻の自然」。(早池峰国定公園、田瀬湖、葛丸河渓流などを紹介している。)

<<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/kanko/midokoro/shizen/1003914.html>>

97) 参照、一般社団法人花巻観光協会「わんこそば体験午前コース」

<<https://www.kanko-hanamaki.ne.jp/modelcourse/wankosoba/>>

98) 参照、一般社団法人花巻観光協会「花巻を食べる 花巻の一番星をめぐる 通天閣」

<<https://www.kanko-hanamaki.ne.jp/gourmet/article.php?p=333>>

99) 参照、一般社団法人花巻観光協会、前掲注 17、15 頁。

100) MaaS は mobility as a service の略称。情報通信技術を生かしてマイカー以外の交通をサービスとしてとらえてシームレスにつながぐことを指す。参照、同前。

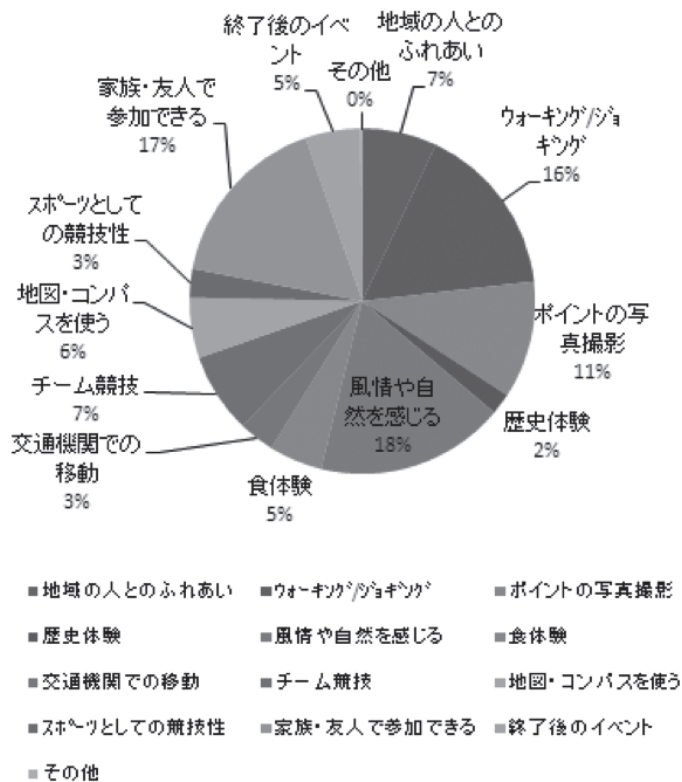
101) 参照、同前。

102) ロゲイニングにつき、参照、日本フォトロゲイニング協会「ロゲイニングとは？」

」<<https://photorogaining.com/about/history/>>

103) 参照、一般社団法人 日本フォトロゲイニング協会ホームページ。<<https://photorogaining.com/>>

図 10 フォトロゲイニングの魅力（大会参加者アンケート結果）



出典：一般社団法人日本フォトロゲイニング協会「なにが面白い？」
 < <https://photorogaining.com/about/characteristics/> >

【課題2】リピーターを含む外国からの観光客に向けての花巻市の魅力の向上

リピーターを含む国内の個人旅行者向け観光地としての花巻市の魅力向上策はいずれもリピーターを含む外国からの観光客に向けての花巻市の魅力向上にもつながる。特に、花巻温泉郷の宿泊施設の改修と花巻市での滞在期間を延ばす効果が期待できる各種の体験ツアーやロゲイニングなどのイベントの実施、それを可能にする二次交通の充実は重要である。これらを外

国からの観光客の送り出し国に向けてPRすることが課題となる。この他に、Wi-Fi環境の整備、観光関連施設のキャッシュレス化の推進など、外国からの観光客のニーズの高い受入れ環境の整備を進めることが大切である¹⁰⁴⁾。

リピーターを含む外国からの観光客にとっての花巻市の魅力向上を図る上では、宮沢賢治についての海外向け情報発信を強化することが検討されてよい。宮沢賢治の著作の外国語訳は相当数出されているが¹⁰⁵⁾、海外における宮沢賢

104) 参照、一般社団法人花巻観光協会、前掲注 17、16 頁。

105) 参照、国立国会図書館国際子ども図書館 10 周年及び国民読書年記念展示会「第三部 特別コーナー 国境を越える宮沢賢治」<<https://www.kodomo.go.jp/anv10th/special/kenjimiyazawa.html>>

治の知名度を更に高めるための工夫として、宮沢賢治の作品を翻訳する翻訳者が一定期間花巻市に滞在して翻訳に従事する「宮沢賢治トランスレーター・イン・レジデンス」の制度¹⁰⁶⁾を設けることを提案する。制度の概要は以下の通りである。

宮沢賢治学会イーハトーブセンターが翻訳者を選定し、選ばれた翻訳者は一定期間（1か月～半年程度）花巻市に滞在して宮沢賢治作品の翻訳に従事する。滞在中は宮沢賢治イーハトーブ館の施設や蔵書を自由に利用することができるようにする。花巻市は翻訳者に宿舎を提供し、滞在費として一定額を支給する。滞在中に、翻訳者は、宮沢賢治イーハトーブセンターが主催するワークショップを通じて地元及び日本国内の宮沢賢治研究者と交流の機会を持つ他、地元の小中学校や高等学校で宮沢賢治に関する授業を行うことが期待される。翻訳者は、滞在の成果として出版された翻訳書をイーハトーブセンターに寄贈する。

「宮沢賢治トランスレーター・イン・レジデンス」を発足させ、継続することで、宮沢賢治の著作の外国語訳が着実に増加し、賢治の海外における知名度が向上していくことが期待できる。ひいては、花巻市と宮沢賢治ゆかりの施設を訪問する海外からの観光客（リピーターを含む）の増加につながるだろう。この事業を実行する上での花巻市の財政負担は、翻訳者への宿舎の提供と渡航費・滞在費の支給が主なもので

あるが、宿舎については、花巻市内の空き家の借り上げにより費用を抑えることができる。滞在費を月額15万円と見積もれば、3か月滞在中の場合に所要費用は渡航費プラス45万円であり、花巻市が大きな財政負担を負うものではない。宮沢賢治の作品が海外に紹介され、海外における宮沢賢治の知名度が向上するという効果を考えれば、費用対効果が極めて高い事業と言えるだろう。事業の実施に当たっては、宮沢賢治学会イーハトーブセンターの協力が不可欠であるが、花巻市とセンターは密接な連携関係を保っており、この点は「宮沢賢治トランスレーター・イン・レジデンス」事業の実施に当たっての大きな障害とはならないだろう。否むしろ、この事業を通じて宮沢賢治イーハトーブセンターの国際的な知名度の向上も期待できるため、センターにとってこの事業に協力する動機が存在すると考えられる。

1 b (3) で見た通り、花巻市を訪問する外国人旅行者の送り出し国としては台湾が8割近くと圧倒的多数を占めている。これは、いわて花巻空港と台北桃園空港との間（週2便）、仙台空港と台北桃園空港との間（週17便）に定期便が運航され、台湾からの訪問客の9割を占める団体客の東北周遊ツアーの宿泊地として花巻温泉郷が選ばれていることによる¹⁰⁷⁾と考えられる。現在は運行が停止されている上海との定期便が復活すれば、中国からの旅行者が増えることが期待される。仙台空港まで範囲を広げれ

106) トランスレーター・イン・レジデンスの制度につき、参照、松永美穂『世界中の翻訳者に愛される場所』青土社、2024年。

107) 前掲注23及び対応する本文を参照。

ば、台北の他、ソウル、北京、大連との間に定期便が運航されている¹⁰⁸⁾。この他、仙台－香港線に3社が新規就航し¹⁰⁹⁾、2025年1月には週11便が運航されることになった。このため、上海以外の中国や香港、韓国からの旅行者が花巻市を訪問することも期待できる。これらの国・都市に向けて観光地としての花巻市をPRすることが集客増につながる。日本政府観光局(JNTO)が策定した2023年度～2025年度の韓国¹¹⁰⁾、香港¹¹¹⁾及び中国¹¹²⁾向けの市場別マーケティング戦略は、いずれもリピーターを対象に、食や温泉にフォーカスした地方誘客を重視しており、花巻市への誘客の方策を考える上で参考になる。

b. 農産物輸出の振興

【ビジョン】

花巻市は県内屈指の米どころであり、稲作に園芸と畜産を組み合わせた複合経営が特徴

である。1 b (2) で見たように、販売農家数は2005年から2020年にかけて半減したが、水稻の作付け面積は2005年の7,800haが2020年の7,600haと微減に留まっており、水稻収穫量は2016年以降一貫して4万トンを超えている¹¹³⁾。花巻市の農産物は国内市場向けに出荷されているが、今後伸びることが期待される海外市場向けに輸出することに注力してはどうだろうか。特に、国が輸出重点品目に指定したコメ¹¹⁴⁾については、輸出増が期待できる。コメ以外に、ワインなどの加工食品の輸出を伸ばすことも検討に値する。

国がコメを輸出重点項目に指定した背景として、世界的な日本食ブームで、コメに代表される和食の食材に対する世界の需要が伸びていることが挙げられる。2013年に「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコの無形文化遺産に登録されたこと¹¹⁵⁾が一つのきっかけとなった。2023年の海外における日本食レストランは、

108) 参照、宮城県「仙台空港定期路線の運航状況について【令和6年夏ダイヤ】」

<<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kurin/unkojyokyo.html>>

109) 2024年12月にグレーターベイ航空、香港航空、2025年1月に香港エクスプレスが就航した。

110) 日本政府観光局、「韓国市場マーケティング戦略」

<<https://www.jnto.go.jp/projects/overseas-promotion/marketing-strategy/korea.html>>

111) 日本政府観光局、「香港市場マーケティング戦略」

<<https://www.jnto.go.jp/projects/overseas-promotion/marketing-strategy/hongkong.html>>

112) 日本政府観光局、「中国市場マーケティング戦略」

<<https://www.jnto.go.jp/projects/overseas-promotion/marketing-strategy/china.html>>

113) 参照、花巻市、前掲注7。

114) 2020年11月に取りまとめられた「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」において、「コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品」が、日本の強みがあり、輸出拡大の余地が大きい輸出重点品目として選定された。参照、農林水産省「コメの輸出について」

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_yusyutu/kome_yusyutu.html#:~:text=%E4%BB%A4%E5%92%8C2%E5%B9%B411,%E3%81%A8%E3%81%97%E3%81%A6%E9%81%B8%E5%AE%9A%E3%81%95%E3%82%8C%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F%E3%80%82>

115) 農林水産省、「『和食』がユネスコ無形文化遺産に登録されています」

<<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/ich/>>

2021年の約15.9万店から約18.7万店に増加した。アジアの店舗数が最も多い(約12.2万店)¹¹⁶⁾。さらに、最近では日系の中食・レストランチェーン、小売店の海外進出などを背景に、日本産米の海外需要が高まっている。コメの海外輸出に強い追い風が吹いており、商業用のコメの輸出量は2014年の4,516トンから2023年には37,186トンと10倍近く伸びた。この追い風に乗り、花巻産のコメ・コメ製品の輸出を増やすこと優先目標とすべきである。

【課題】

このビジョンを実現するためには、大前提として、花巻産のコメの輸出競争力を向上させることが肝要である。その上で、海外市場へのアクセスをいかにして確保するか、海外市場向けの生産・加工をいかに進めるかが課題となる。

【課題1】花巻産のコメの輸出競争力の向上

農林水産省は、コメを含めた農林水産物輸出について、2025年に総額2兆円、2030年に5兆円を目標として掲げている。2020年11月に策定され、2023年12月に4度目の改訂がなされた「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略～マーケットイン輸出への転換のために～」では、コメ及びコメ製品（パックご飯、米粉、米粉製

品）の2025年の輸出目標125億円（2019年の実績52億円）を掲げ、輸出先としては、香港（2025年の目標36億円）、米国（30億円）、中国（19億円）、シンガポール（16億円）、台湾（9億円）を上位に掲げ¹¹⁷⁾る。この目標を達成するため、(1)先進的なJAなどをモデル産地として、千トン超の輸出用米の生産に取り組む産地を30～40産地育成すること、(2)コメの加工・流通施設を整備すること、(3)全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）が策定した中期計画に基づく販路開拓を進めること、という3つの方策に取り組むとする¹¹⁸⁾。

花巻市がコメの輸出を伸ばすためには、上記のうち、全国から30から40が選ばれるとされる「輸出産地」に選ばれることが条件となる。2024年12月現在、「いわて農林水産物輸出流通促進協議会」が30のモデル産地の1つに選ばれており、この協議会の管轄は花巻市にも及ぶので、この条件は一応満たされている。同協議会はコメについて「輸出事業計画」を策定しており、2020年の輸出実績620トンと2024年度は1,400トンに倍増させることを目指している¹¹⁹⁾。2024年度のコメ生産量278,700トンの0.5%という控えめな目標であるが、その達成のためには、(1)販路の開拓・拡大、(2)実需者のニーズに対応した高品質・良食味米の安定

116) 農林水産省農産曲企画課米穀貿易企画室「コメ輸出の現状と輸出拡大に向けた生産者への支援策について」2024年、2頁。

<<https://www.maff.go.jp/hokuriku/seisan/supply/attach/pdf/hokurikukomesaron-2.pdf>>

117) 農林水産省、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略～マーケットイン輸出への転換のために～」2020年11月策定、2024年12月に第4次改訂、別表1 品目別輸出目標、29頁。<<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/progress/attach/pdf/index-36.pdf>>

118) 農林水産省、同前、30頁。

119) いわて農林水産物国際流通促進協議会、品目：コメ「輸出事業計画」3頁。

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/gfp/attach/pdf/yusyutsu_keikaku_kohyo-652.pdf>

生産、(3)生産コストの低減と省力化、(4)輸出に向けた加工・流通体制の強化が必要である。¹²⁰⁾

コメの輸出を伸ばすためには、コメの輸出競争力を向上させる必要がある。農林水産省によれば、水稻の生産コストは、米国と比較して4.2倍の差がある¹²¹⁾。コメの輸出競争力を向上させるためには、生産基盤の強化¹²²⁾、単位収量の増加¹²³⁾を通じた価格競争力の向上を図ることが必要である。これらの方策は個別の農家が実行できるものではない。県や市、土地改良区などが主体となって実施する圃場整備などの生産基盤整備事業に対しては、国¹²⁴⁾や県¹²⁵⁾の補助金が得られる。収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、農業者などが行う高性能な機械・施設の導入を支援する補助金¹²⁶⁾も利用可能である。単位収量の増加には国や県の農業研

究機関による取組みが有効である。

JAいわて花巻は、毎年田植えの前の3月上旬から中旬にかけて、水稻栽培指導会を開催し、圃場整備と適期の作業を呼び掛けている¹²⁷⁾。他、6月後半には圃場を巡回し、雑草の発生状況や水稻の生育を確認している¹²⁸⁾。また、全農家組合で集落営農ビジョンを策定・見直しし、集落営農を基本とした「地域ぐるみ農業」の確立のため、高齢化に対応しながら担い手を育成できる持続可能な集落営農を推進している¹²⁹⁾。1990年から2003年にかけて実施された圃場整備事業により、いわて花巻空港周辺の水稲生産基盤を確立し、引き続いて2003年から2005年にかけて花巻東部CE(カントリーエレベーター)を建設して、集出荷の一元化と産米の均質化、コメの生産と流通の効率化を図った¹³⁰⁾。2018

120) いわて農林水産物国際流通促進協議会、同前、2頁。

121) 2 農林水産省「経営規模・生産コスト等の内外比較」

<<https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokuryo/240827/attach/pdf/240827-87.pdf>>

122) 参照、大泉一貫「稲作農政の課題(上) コメ輸出へ大規模化を促せ」日本経済新聞、2024年10月22日朝刊22頁。

123) 荒幡克己「稲作農政の課題(下) 単位収量増で競争力強化を」日本経済新聞、2024年10月23日朝刊31頁。

124) 農林水産省「農業農村整備事業 農業生産基盤整備・保全」

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/nn/n_taikei/index.html>

125) 参照、岩手県「農業生産基盤関係事業」

<<https://www.pref.iwate.jp/sangyoukoyou/nouson/kiban/index.html>>

126) 農林水産省「産地生産基盤パワーアップ事業について」

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/suisin/tuyoi_nougyou/sanchipu.html>

127) JAいわて花巻「水稻栽培指導会 圃場整備と適期の作業呼び掛け」2024年3月15日。

<<https://www.jahanamaki.or.jp/news/article.php?p=2826>>

128) JAいわて花巻「目指せ155万袋集荷 全地域で圃場巡回を実施」2024年7月1日。

<<https://www.jahanamaki.or.jp/news/article.php?p=2896>>

129) 参照、JAいわて花巻「第31回 JA人づくり研究会「組合員直営型CE運営への転換によるコスト削減・利用率向上とJAサポート対策」2018年9月13日、11頁。

<http://www.ja-hitodukuriken.jp/topics/pdf/181211_05.pdf>

130) 参照、JAいわて花巻、同前、12 - 24頁。

年には管内で4つのCE（花巻東部、胡四王みらい、石鳥谷広域、北上中央）が組合員の自主運営によりコメ集荷200万袋を目標として稼働している¹³¹⁾。このように、JAいわて花巻の主導により、花巻市のコメ生産の効率化が図られてきたことは評価できるが、それがコメの輸出競争力の向上にどこまでつながっているかは今後検証する必要があるだろう。

【課題2】 海外市場へのアクセス確保

海外市場への輸出実績がない中で、いかにして海外市場へのアクセスを確保するかが課題となる。海外市場へのアクセス確保のためには、海外市場情報の入手、高い営業コスト、複雑な輸出手続と輸出先国での通関手続、代金の回収リスクなどの課題がある。これらの課題克服のために、日本政府及び関係団体が提供する種々のサービスを活用すべきである。

日本貿易振興機構（ジェトロ）は、日本産農林水産物・食品の有望な輸出先国に「輸出支援プラットフォーム」を設置し、農林水産物・食品の輸出拡大に向けた環境整備の取組み（カン

トリーレポートの作成、現地主導でのプロモーションの推進、現地拠点を設ける事業者への支援、日本食レストランなどと連携した日本食の普及など）を実施している¹³²⁾。また、ジェトロは、海外市場情報サービス、海外市場プロモーション、輸送支援サービス（輸送サービスの手配、輸出事務手続代行）を提供している¹³³⁾。

輸出重点品目であるコメ・コメ加工品については、2015年に前述の全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会が設立されており、コメ・コメ加工品の輸出促進につながる市場開拓調査や販売促進活動を展開している¹³⁴⁾。特に、有望なコメ輸出先として19の国・地域を選定し、それぞれの国・地域の市場特性と取引慣行、関税・検疫制度・食品規制、小売店の店頭価格、インターネット販売の実態を調査した結果を『令和5年度版 日本産コメ・コメ加工品輸出ハンドブック』として公表しており、参考になる¹³⁵⁾。花巻市のコメ生産者・加工業者は、この団体に加入し、団体が提供するサービスを活用して、海外市場へのアクセス確保を図るべきである¹³⁶⁾。

131) 参照、JA いわて花巻、同前、25 - 28 頁。

132) 日本貿易振興機構（ジェトロ）「農林水産物・食品輸出支援プラットフォーム」

<<https://www.jetro.go.jp/agriportal/platform/>>

133) 日本貿易振興機構（ジェトロ）「農林水産物・食品の輸出支援ポータル」

<<https://www.jetro.go.jp/agriportal/>>

134) 参照、一般社団法人全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会ウェブサイト。

<<https://zenbeiyu.com/jp/>>

135) 同上、「令和5年度版 日本産コメ・コメ加工品輸出ハンドブック（19カ国・地域調査）」

<<https://zenbeiyu.com/jp/topics/report/handbook-r5/>>

136) 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会には、JA 全農（全国農業協同組合連合会）、JA 全農傘下の輸出促進事業者である JA 全農インターナショナル株式会社が会員として加入している他、東北地方からは秋田なまはげ農業協同組合、ごしよつがる農業協同組合、庄内みどり農業協同組合などの個別の農業協同組合も会員として加入している。みやぎ登米農業協同組合は賛助会員として参加している。参照、一般社団法人全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会、「会員のご紹介」。<<https://zenbeiyu.com/jp/member/>>

コメ以外にも、花巻市にはワイン¹³⁷⁾などの輸出に適した農産物・食品がある。花巻市の農産物・食品の海外における知名度を高める上では、今後増加が期待される海外からの観光客に向けて花巻市の農産物・食品の魅力を伝えるプロモーション活動も有効である。関係者（一般社団法人花巻観光協会、宿泊施設、飲食店など）とタイアップしてのプロモーション活動を企画し展開することを農業団体（JAいわて花巻）や花巻市の農業担当部署に提案したい。

【課題3】 海外市場向けの生産・加工と商品開発

海外市場へのアクセス確保のためには、海外市場向けの生産・加工と商品開発が欠かせない。課題2で挙げた種々の団体の展開するサービスを活用して、海外市場向けに有望な産品・加工食品を開発し、その生産と加工を組織的に進めることが必要である。ここでも、コメ生産者及びコメ関連製品の事業者が課題2で触れた全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会に参加することが有益である。協議会のウェブサイトは、パックご飯や日本酒、米菓などの加工食品の魅力をアピールしており¹³⁸⁾、参考になる。また、コメを使った料理の外国語版レシピ（英語、簡体中国語、ロシア語）も掲載している¹³⁹⁾。なお、協議会のウェブサイトは、日本語以外に3か国語（英文、簡体中文、中文繁体）のページを設

けている。

c. 外国人住民の共生に向けた働きかけ

【ビジョン】

2024年6月現在の花巻市の在留外国人数は713人である。2024年11月末現在の総人口89,992人に占める割合は0.79%に留まるが、在留外国人数は近年増加傾向にあり、今後も増加が予想される。近い将来には1,000人を優に超え、総人口に占める割合も全国平均の3.5%に近づいていくことになるだろう。

少子高齢化が進む日本では、日本に来て経済活動に従事し、生活を営む外国人の数を増やしていくことが将来の人口減少のペースを緩和し、日本経済の活力を保持する上で欠かせない。今後、増加が予想される外国人住民が花巻市で快適に生活できるよう、外国人の共生に向けてしっかり取り組んでいくことが大切である。

【課題】

今後も増え続ける外国人住民の共生に向けた働きかけとしては、花巻市が現在外国人住民に提供しているサービスを量的に増やしていくことがまずは求められる。それだけではなく、外国人住民の増加に伴って新たに生まれるニーズが何かを見極め、それに的確に対応していくことが必要である。

【課題1】 外国人住民向けサービスの量的拡大

137) 中でも、花巻市でワイン製造に従事するエーデルワインは国内外のワインコンクールで多数の受賞実績がある。参照、花巻市、「世界に誇る『花巻ワイン』」

<<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/kanko/midokoro/1010827/1012057.html>>

138) 同上、「日本産のコメ・コメ関連食品のご紹介」<<https://zenbeiyu.com/jp/japan-rice/>>

139) 同上、「レシピのご紹介」<<https://zenbeiyu.com/jp/recipe/>>

外国人住民の数が増えるとともに、出身国も多様化している¹⁴⁰⁾。生活全般に関わる多言語による情報提供として、花巻市ホームページは、自動翻訳サービスの利用により、英語・ベトナム語・中国語・韓国語など131言語に翻訳されるので、出身国の多様化にも対応できる。外国からの転入者向けに提供される家庭ごみ収集カレンダーは、現在の5言語（英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語）に加えて、タガログ語やミャンマー語でも提供する必要があるだろう。母子健康手帳については、公益財団法人母子衛生研究会が、英語、中国語、ハングル、タイ語の他、ネパール語、ベトナム語、タガログ語、ポルトガル語、インドネシア語、スペイン語の計10か国語の手帳を発行しているので、必要に応じてこれを配布することは有効である。生活講座・日本文化体験講座の多言語化も必要であろう。自動翻訳ソフトウェアが急速に進歩・普及しているので、これらを積極的に活用すればよい。市役所の窓口対応についても同様である。

公益財団法人花巻国際交流協会が主催して実施している日本語講座はニーズに応じて拡大する必要があるだろう。日本語講師の確保が課題となる。

【課題2】新たに生まれるニーズへの対応

現在、花巻市で生活する外国人の多くは、特

定技能、技能実習などの在留資格であり、数年間日本で働いた後は帰国することが前提となっている。しかし、技能実習制度が見直され、特定技能への移行を前提とする育成就労制度が導入されることになった。今後は在留期間の長期化、さらには特定技能から永住への切り替えの増加が見込まれる。花巻市で働くだけでなく、家族を持って長く住み続ける外国人住民が次第に増えていくだろう。外国人のライフステージに応じた新たなサービスのニーズが生まれる。

特に、外国人向け初等中等教育の充実は大きな課題である。公立学校における日本語指導が必要な児童生徒の数が増えることは確実である。他方で、住民の1%弱が外国人であるという現状では、対象児童生徒が散在しており、日本語指導を実効的に実施するためには、拠点校・遠隔支援校の設置、オンライン授業の導入などの工夫が必要である。

より長期のスパンで考えれば、ゆくゆくは外国人住民の高齢化に対応することも考えなければならなくなるだろう。多様な医療・介護ニーズに対応することも必要となるだろう。多様な文化的背景を持つ外国人住民が安心して長く暮らせる花巻市、それは日本人住民にとっても安心して暮らせる街になるはずである。花巻市の明るい未来に向けて、着実に施策を展開していくことが求められる。

140) 2024年6月の在留外国人統計によれば、花巻市の在留外国人の出身国は、多い順に、ベトナム(151人)、中国(127人)、タイ(81人)、フィリピン(71人)、ミャンマー(61人)となっている。出身国の総数は31に上る。参照、法務省「在留外国人統計 表 24-06-t2 市区町村別 出身国別 在留外国人」花巻市。

Glocal Design Proposal: Hanamaki City

Junji Nakagawa

Professor, Department of Liberal Arts, Chuo Gakuin University

Director, Institute of Social System, Chuo Gakuin University

Abstract

This paper aims at making proposals for the future design of Hanamaki City, Iwate Prefecture, making full use of its global connections and its resources (historical, cultural, natural, social and economic). Based on the survey of the global connections and the resources of Hanamaki City, it makes the following three proposals; (1) promotion of sightseeing, focusing on the increase in the number of domestic personal travelers and inbound travelers, (2) promotion of the export of agricultural products, focusing on rice, and (3) the improvement of the treatment of foreign inhabitants. Hanamaki City has succeeded in attracting both domestic and inbound travelers, but there is a room for substantive increase in the number of both categories of travelers. Hanamaki City is famous for its high-quality agricultural products, including rice and wine. In light of the growth potential of agricultural export, it should endeavor to promote exports of its agricultural products. Although foreign inhabitants account for less than 1% of the population of Hanamaki City, it is likely to constantly increase. Hanamaki City should take good care of its foreign inhabitants by providing, among others, multi-lingual information on its administrative and community services and Japanese education for foreign elementary and junior high school students. It should also prepare for taking good care of foreign adult and elderly inhabitants. If Hanamaki City is a wonderful and safe place for foreign inhabitants, it should also be a wonderful and safe place for Japanese inhabitants.